

第34回 山口市中心市街地活性化協議会（報告）

1. 日 時 平成29年4月27日（木）14：00～15：00
2. 場 所 山口商工会議所 5階コミュニティホール
3. 出席者 14名
4. 内 容
河野会長、小田村副会長から挨拶の後、議事に入る。

【審議事項】

1号議案 平成28年度事業報告並びに収支決算報告について

事務局から資料に基づき、平成28年度事業報告・収支決算について報告。

監査について原田監事より報告。

～異議なく承認～

2号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算（案）について

事務局から資料に基づき、平成29年度事業計画・収支予算案について説明。

～異議なく承認～

※主な変更点として、昨年度より支出項目が減ったため、今年度は各団体より負担金を徴収しない。

【報告事項】

第2期中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

(1) 基本計画のフォローアップに関する報告について

山口市より資料に基づき説明。

「商店街等通行量（休日）」については、目標値 58,000 人に対して最新値は 50,927 人となっており、現時点では目標達成には至っていない状況にあるが、平成 27 年度と比較すると約 3,000 人の増加。この要因は、第 2 期基本計画や民間主体の共同住宅が建設され、供給が概ね順調に進んでいることが寄与されていると考えられる。今後も目標達成に向けて、中心商店街での回遊を促すイベント等のさらなる充実に向けて取り組むことが必要。

「商店街の空き店舗数」については、目標値 30 店舗に対して、最新値平成 40 店舗であり、現時点では目標達成には至っていない。今後も継続的に「あきないのまち支援事業」の周知啓発を図るとともに、新規開業希望の相談を出店に繋げ、目標達成に向け取り組む。

「居住人口の社会増減（5年間の総数）」については、目標値 250 人増に対して、最新値 291 増。要因としては共同住宅の供給が順調であることと推察されるが、現時点では全戸完売には至っていないことから、今後も住宅の供給が進むことにより、目標達成は可能であると見込む。

(2) 山口駅前地区住宅市街地総合整備事業

山口市より資料に基づき説明。

密集市街地において、老朽住宅等の建替えと公共施設の整備を促進し、住環境改善、防災性の向上等を図るため、住宅市街地の再生・整備を総合的に行う事業。平成 28 年度は、平成 28 年 3 月に作成した整備計画に基づき、ブロック別の協議・検討を開始し、道場門前一丁目において、検討組織との協議や関係権利者の意向調査を実施。今年度は、意向調査の結果報告と今後の検討事項の確認後、整備の実現に向けた取り組みを進める。

(3) 山口駅周辺地区バリアフリー基本構想事業について

山口市より資料に基づき説明。

平成 21 年 6 月に策定した「山口市バリアフリー基本構想」で、新山口駅周辺地区に次ぐ候補地区として、山口駅周辺地区が位置づけられた。①山口駅と中心とした一体的なバリアフリー化の推進。②駅通り及び商店街アーケードを軸として、中心市街地のにぎわいづくりに貢献するバリアフリーの回遊空間づくりの推進。③多様な人々の協働による心のバリアフリーの推進を基本方針に実施・検討していく。

(4) あきないまち支援事業について

有田タウンマネージャーより説明。

平成 28 年度末の空き店舗数は 40。昨年度の中活 2 期計画の空き店舗数目標は 36 で、初めて年度ごとの目標達成に至らなかった。平成 23 年度から 6 年間で 126 店舗の新規出店があり、商店街 280 店舗中の約 1/3 が入れ替わり、新陳代謝は起きている。中活 2 期計画の最終目標は 30 店舗であり、引き続き目標達成に向けて取り組む。

(5) 黄金町地区第一種市街地再開発事業について

再開発組合の北條理事長より資料に基づき説明。

道場門前大駐車場や隣接地の所有者が、土地を協同化し、新たに協同住宅・駐車場・公益施設・商業施設及び防災施設等の整備を行うため、平成 26 年 7 月に山口市黄金町地区再開発準備組合が組織された。今年 3 月に事業計画及び組合の設立が認可され、平成 31 年度に竣工予定。

以上